



# さっぽろ KOMEI

上半期  
実績集

● 発行者 札幌市議会公明党議員会 ● TEL 011-211-3219

## 令和7年 第1回定例会市議会 報告



福田浩太郎 議員

### 地域とともに 公共交通の確保を

路線廃止などバスのネットワーク再編が進む中、地域ごとの実情に応じた移動手段の確保が重要だと考えるがどうか

担当課を新設して体制強化を図り、地域・事業者・行政が一体となって、公共交通の確保を目指して参ります。

### 2040年に向けた「創造的福祉社会」の構築

高齢者人口のピークと生産年齢人口の激減が予想される2040年に向けてどう備えるのか？

人々がつながり支え合い、個性や能力を認め合う「創造的福祉社会」を目指すことは重要であり、介護サービスの質と量を向上させていきます。

### 水素社会実現に向け、着実な取り組みを

水素社会の実現に向けては、水素を身近に感じたりする取り組みを進めることが重要であるが、どのようなことに取り組むのか

積雪寒冷地での商用車両の運用実証や、商業施設などへの純水素型燃料電池の設置を促します。

### 市民の声を取り入れ、新たな雪対策を目指せ

小さな声も丁寧に聴きながら議論する新たな手法や、先端技術の有効活用など新たな技術の導入を検討すべき

新たな手法やSNSによるアンケートなどは有効であり、先端技術の活用は審議会や企業、大学と連携しながら推進します。

### ていねプールの有効な再整備を

老朽化が進む「ていねプール」は、本市に必要な施設として、にぎわいと需要の創出による再整備を行うべきではないか

公設公営にとらわれず、民間の資金やノウハウを生かした手法を検討し、適切な対応を見極めて参ります。

### リチウム蓄電池の適正な処理について

適切な分別と廃棄方法について、市民理解を得ながら進めることが重要と考えるがどのように取り組むのか

発火事故につながる事例も発生しているため、リチウム蓄電池を使用する製品の具体例や適切な廃棄方法について市民周知の充実に努める。

### 戦後80年における平和への思いについて

若い世代への平和意識醸成の取組をどのように考えるか

若い世代が平和の尊さを考えることは平和の継承のために特に重要。高校生が作成した被爆に関するジオラマや絵本を地下歩行空間に展示するなど、深い関心を持てる取組を進める。

### 滑走路延長を見据えた丘珠空港ターミナルビルの拡張について

滑走路延伸の2030年供用開始に連動する整備とすべきと考えるが見解を伺う

6500㎡程度の床面積が必要であることを踏まえ、増築と新築の両面で比較検討を行う。滑走路延伸の2030年供用開始という目標に合わせた整備が重要と認識しており資金計画等も含め、年度末を目途に整理していく。

### 学校における安全安心や健やかな育みの推進について

教育現場の安全安心や子ども達の健やかな育みをサポートするため、学校内へのカメラ設置の議論を開始すべきでは？

国や他自治体の動向や児童生徒、保護者、教職員の意見も踏まえながら学校の安全・安心な教育環境を整備していく。

## 令和7年 第2回定例会市議会 報告



森山由美子 議員

### 魅力的な 健康アプリについて

多くの方が楽しく前向きに参加できるようなように取り組むのか

身近な活動が幅広くポイントの対象になることや日常生活に新たな楽しみが加わることで大きな魅力になると考える。積極的な情報発信と市民モニターを通じ、アプリに対する意見を取り入れ、改善を重ねていく。

暮らしを守り、未来を拓く！

代表質問報告

# さっぽろ KOMEI 2025 上半期実績集

## 1 物価高を乗り越え、より豊かな暮らしを ～経済の回復、新産業創出と社会基盤等の整備を～

### ① 国の補正予算を活用し更なる物価高騰対策を実施!

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に地方交付税の一部等を加えて、市民全体へ水道料金の減額(2か月分)や、子育て支援の取組として学校給食の食材費高騰分を負担。児童福祉施設や子ども食堂へ支援金の給付。事業者向けにはバス・タクシー事業者への臨時支援金を交付。また低所得世帯には給付金を支給しました。



### ② 青少年科学館の観覧料に学割を導入

4月から札幌市青少年科学館の観覧料金が見直され、高校生・大学生等に学割が導入されました。学生証・生徒手帳を提示することで、展示室が800円→400円プラネタリウムが550円→250円、セット観覧料は1,100円が550円になりました。

### ③ 地下鉄、路面電車にタッチ決済を導入

札幌市交通局は、4月より地下鉄全46駅93箇所でのクレジットカード等のタッチ決済をスタートしました。専用リーダーは荷物の多い観光客や車いすの方にも配慮し、通路幅が広い改札機に優先的に設置されています。さらに、路面電車については令和7年度中に専用リーダーによるタッチ決済導入を進めます。



## 2 誰もが安全・安心に暮らせるまちへ ～防災・減災・復興を主流にしたまちづくりを～

### ① 個別避難計画が本格実施!全区へ展開

大規模災害に備え、高齢者や障がいのある方などの要配慮者の個別避難計画作成を全区へ展開していきます。今年8月からは福祉専門職への協力依頼や説明会を開始。モデル事業や検証で得られた現実的な課題、災害対応力や介護職員のスキルアップ等、各事業所の状況を把握し、実効性ある事業所ごとの作成により有事の際の逃げ遅れを防ぎます。



### ② 新たに防災DXを導入し、災害対応の高度化・迅速化が可能に!

北海道胆振東部地震の教訓を踏まえ「防災DXを導入すべき」と主張。今年度新システムが導入され、運用開始に向けて準備が進んでいます。これにより、風水害は12時間以上先まで予測、大規模地震発生時の被害等は約1時間で推定でき、避難情報発令や避難所開設等に必要な体制を先読み。数か月を要していた罹災証明調査は、わずか数日で。市と事業者が現場情報を即時に共有できる「防災デジタルプラットフォーム」も導入され、データに基づいた的確で迅速な災害対応を可能にします。

### ③ 市民集会施設のエアコン設置へ補助!

一昨年の記録的な猛暑を受け、暑さ対策の強化を求める緊急要望を行い訴えてきたことのひとつ、町内会や自治会等が所有する市民集会施設のエアコン設置への補助が実現しました。エアコンが一台も設置されていない施設を対象とし、1室分のエアコン設置について補助対象経費の2分の1、上限40万円を補助します。



# 3 誰もが互いに尊重しあい暮らせるまちへ

～未来を輝かせる施策の充実と環境の整備を～

## ① 「おくやみ窓口」がさらに利用しやすく!

公明党の主張が実り2022年7月に市内全区役所に設置された「おくやみ窓口」が更に充実します。これまでは、対面のみでの対応でしたが、遠方の方や来庁が困難な方でも利用しやすいように、7月1日よりオンライン予約や、ズームでのオンライン相談が可能となりました。



## ② 防犯カメラで地域の安全安心を推進!



「町内会等における防犯カメラの設置助成制度」が好評です。昨年度までに150町内会で延べ486台が設置されました。今年度も新たに100台近くの設置が見込まれます。設置した町内会では不審者事案が無くなるなど、大きな効果が報告されています。地域の犯罪抑止や早期の事件解決に大きく役立つ防犯カメラの設置をさらに進めてまいります。

## ③ 高齢者の低栄養対策を推進。健康寿命の延伸を!

高齢者の低栄養はフレイルを招く要因であることから、対策の重要性を繰り返し訴えてきました。このたび、管理栄養士による個別指導が受けられる「栄養口腔フレイル講座」を新規事業として立ち上げ、今年度は中央区で実施。来年度は全10区での開催を目指すとともに、より重い低栄養が疑われる対象者を抽出し、電話や訪問による指導を行う等、高齢者の低栄養対策とフレイル予防の充実に取り組みます。



## ④ 持続可能な公共交通網を目指す取り組みが前進

今年の4月1日から観光バス事業者による路線区間の実証運行がスタートしました。これまでの路線バス事業者の撤退にかわり、札幌市で初めてとなる観光バス事業者の運営で「厚別ふれあい循環バス」の実証実験がスタート。さらに、札幌市では新たに地域交通担当課を設置し、地域と事業者等と協同し地域公共交通の確保に務めます。

## ⑤ こども・若者の声がかたに。「アクションスポーツエリア」がオープン!

「スケートボードを楽しめる場所が欲しい、という声」が寄せられる一方で、危険や騒音へ懸念の声も受け止め、政策調査と議会質問を重ねた結果、厚別山本公園に札幌で初となる「アクションスポーツ広場」が新整備され、今春待望のオープンとなりました。さらに、手稲区稲積公園ではスケートボードとバスケのエリアがオープン。喜びの声が届いています。

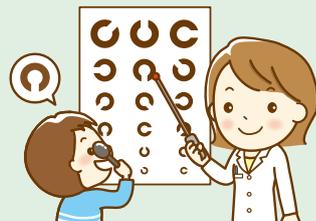


# 4 心豊かで健康に暮らせるまちに

～保健・医療・福祉施策の充実強化と自然・生活環境の向上を～

## ① 3歳児健診の屈折検査が全区へ展開!

子どもの視力の発達に妨げられて生じる「弱視」。目が急速に発達していく幼児期に早期発見し、治療につなげることが大切であることから、3歳児健診での「屈折検査」実施の必要性を議会質疑や予算要望などで繰り返し訴え、R5年度、モデル事業として1区からスタート。この度、札幌市10区で全区展開することとなりました。



## ② 市有施設の授乳室に「搾乳」マークを掲示!

低体重出生児や働くお母さんが外出先で赤ちゃんのために母乳を搾る搾乳。しかし赤ちゃんと一緒にないために、授乳室での利用を不審に思われ、ためらうケースもあり、こういったお母さんが外出先でも安心して授乳室で搾乳がしやすくなる環境整備をもとめ、札幌市でも掲示が始まりました。

4

心豊かで健康に暮らせるまちに

～保健・医療・福祉施策の充実強化と自然・生活環境の向上を～

③ 東部児童相談所と里親支援センターを開設

市内2カ所目となる「札幌東部児童相談所」が新設され令和7年9月より供用開始!虐待や家庭不和など課題が複雑化・多様化する中、きめ細やかな対応が可能となります。また社会的養護が必要な子どもを迎え入れる里親を支援する「里親支援センター」も本年4月に新たに開設するなど、子どもたちに寄り添った支援体制が拡充しました。



④ 子ども医療費の助成を拡充!

子ども医療費助成が、高校生世代(※)まで拡充されました。通院・入院に係る医療費が対象になります。公明党は少子化対策の観点などから議会で訴えるとともに、「子育て応援トータルプラン」に掲げるなど、実施自治体へのペナルティー措置見直しを求めてきました。  
※18歳に達する日以後の最初の3月31日まで対象



⑤ さっぽろ結婚支援センターが好評!

昨年9月、マッチングシステムを導入したオンライン型の「さっぽろ結婚支援センター」を開設。これまでのお見合い件数は2,076組、成婚数は10組になりました(8月現在)。対象は18歳以上であれば年齢制限はなく、さっぽろ連携中枢都市圏※に在住、在勤または移住を希望する方が入会できます。  
※さっぽろ連携中枢都市圏:札幌市と近隣11市町村



お見合い成立数 **2,076組** 成婚数 **10組** ※2025年8月現在



詳しくはQRコード、またはホームページからアクセスを!  
<https://www.kekkon-center.city.sapporo.jp/>



⑥ ウィッグ及び乳房補正具購入費用助成事業 R7年度予算を増額

がん患者の治療に伴う見た目の変化に対応する「アピランスケア」が患者の心身を支えるとの公明党の主張を受け、令和6年度からウィッグ等の費用助成事業がスタートしました。申請した方のアンケート調査では、女性からの申請が99%、自分らしい日常生活を送れたとの回答が9割と喜びの声から、さらに、本年度の予算が増額されました。

⑦ 高齢者への帯状疱疹ワクチンが定期接種の対象に 全国トップクラスの費用助成を実現!

公明党の地方議員と国会議員が連携して進めてきた帯状疱疹ワクチンの定期接種化が実現。接種対象者への費用の一部助成が始まりました。

【対象者】

- 2025年度内に65歳を迎える方
  - 60～64歳の方であって、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方(身体障害者手帳1級相当)
  - 2025年度から2029年度までの5年間の経過措置として、その年度内に70、75、80、85、90、95、100歳(※)となる方も対象となります。
- ※:101歳以上の方は、2025年度に限り全員対象となります。

帯状疱疹ワクチンには生ワクチン、組換えワクチンの2種類があり、いずれか1種類を接種します。

【接種費用】

- 生ワクチン……………4,500円 1回接種(皮下注射)
- 組換えワクチン………10,800円×2回 2回接種(筋肉内注射)通常2か月以上の間隔をあけて接種。

